



いばらき県議会だより

茨城県議会

検索

<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>



※ホームページでは本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています

「いばキラTV」<https://www.ibakira.tv/> 本会議および予算特別委員会を生中継しています
音声版「声の県議会だより」および「点字版県議会だより」も作成しています

発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会

〒310-8555 水戸市笠原町978番6
Tel.029-301-5646 [年4回発行]

No.214

「マスクなし」をなくしましょう!

- 会食時には、昼夜を問わず、大声・回し飲み・はしの共用を避け、会話するときにはマスクを着用する。
- 家庭では、検温や健康チェック、手洗い・うがいを心掛け、外出時にも、手洗い・うがい・手指消毒を行い、マスクなしでの会話を避ける。
- 感染者やその家族、医療従事者などへの不当な差別は、絶対にしない。



アマビエちゃん登録店舗を利用しましょう

迎春

2021年



茨城県議会議事堂



変革。県民と共に創る いばらきの新時代

茨城県議会議長 常 井 洋 治

新年明けましておめでとうございます。昨年十二月の第四回定例会において、議長(百十三代)に就任いたしました。その職責の重大さに身の引き締まる思いであります。コロナ危機に直面し、県議会は県民の不安に寄り添い、苦境に立つ事業者に心を寄せ、県民の皆様と心ひとつに「一心一徳」の精神で、難局を乗り越えていかなければなりません。本県医療体制の脆弱性が際立つ現下、医師不足の解消など医療提供体制の強化が焦眉の急であります。また、「日本一、子どもを産み育てやすい県」を実現し、誰もが安心して心豊かに暮らすには、子育て支援はもとより健康、医療、福祉など、あらゆる分野で安心・

安全・快適な生活環境への構造的改革が不可欠であります。山積する課題に対し、県議会は県民の目線と納税者の視点に立った解決策を講じる必要があり、三元代表制のもと、「意思決定機能」「監視機能」「政策立案機能」を駆使して、県政をリードしてまいります。世界的なデジタル化・グローバル化の加速、気候危機への対応など、変革の波が押し寄せ、中、私は、この波を進取の気鋭で取り込み、誰一人取り残さず「誰もが心豊かで生き易く生き心地の良い」「いばらきの新時代」の実現を目指し、職責に全力を尽くします。県民の皆様におかれましては、一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

正副議長就任あいさつ

ポストコロナ時代を見据えた 県勢発展を



茨城県議会副議長 石 井 邦 一

謹んで新春のお慶びを申し上げます。先の第四回定例会におきまして、副議長(百十四代)に就任いたしました。職責の重大さを痛感するところでございます。ウィズコロナ時代に県民の命と生活を守るためには、感染防止対策を徹底し、地域経済の力強い回復を目指さなくてはなりません。とりわけ、感染再拡大が深刻化する中で、医療提供体制をしっかりと確保しつつ、県民生活や県内産業への支援に加え、新しい生活様式に対応しながら本県の発展につながる取り組みを強化していかなければなりません。さらに、リモートワークや二地域居住など新しい働き方・暮らし方が進む中で、ハード

面での整備や交流人口・関係人口の創出・拡大を図る取り組みを推進して、茨城への移住や定住を促進していく必要があります。また、豪雨災害の激甚化・頻発化が常態化し、本県においては令和元年東日本台風災害により、甚大な被害に見舞われました。今後とも国土強靱化の歩みを止めず、防災・減災対策を強化していかなければなりません。県議会においては、ポストコロナ時代を見据え、さらなる県勢発展に向けて、自由闊達な議論がなされるよう、常井議長を補佐し、円滑な議会運営に努めてまいりたいと思っておりますので、県民の皆様には、なお一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

今定例会の概要

令和二年第四回定例会は、十一月二十五日から十二月十五日まで二十一日間の会期で開かれました。議案は、議員から、「茨城県災害ボランティア活動を支援し、促進するための条例」など、また、知事から、茨城県一般会計補正予算、茨城県病院事業会計補正予算などが提出されました。

一般質問は、いばらきサイクルツーリズム構想における大洗・ひたち海浜シーサイドルートを活用推進、行政のデジタル化推進、県政のこれまでの評価と課題、来年度の予算編成方針などの項目について行われました。(二―三面)

各常任委員会は、付託議案の審査、より大きなビジョンでの県北振興の取り組み、農業由来廃プラスチック処理の農家負担軽減の取り組み、不適正な残土処分対策強化、今年度公共事業の執行状況、移転方針が示された保健所の今後の対応などが議論されました。(四面)

予算特別委員会は、医療機関における家族と患者の面会への対応、保育人材確保の取り組み、医療機関への支援などについて質疑が行われました。(五面)

魅力向上に関する調査特別委員会は、「県の魅力向上に向けた諸方策の在り方」について調査結果の報告が行われました。(六面)

決算特別委員会では、令和元年度茨城県公営企業会計決算の認定などについて審査が行われました。(六面)

今回の定例会では、予算、条例、人事、認定、報告、意見書、請願などの五十八件の議案などが可決、同意、認定、承認、採択されました。